2021 年度版

京都府自閉症協会

高機能・アスペルガー部

Zoom交流会スケジュール

「高機能自閉症」「アスペルガー症候群」「広汎性発達障害」などの診断名のお子さんを持つ保護者同士(正会員限定)の交流会です。今年度は外出日以外全てZoomで、テーマ付で交流します。お子さんが普通級に在籍されている方だけではなく、特別支援学級(育成学級)、特別支援学校に通っている方や、診断はまだ出ていないけれど発達障害かも？と不安に思われている方、発達障害について知りたいと思っている方もご参加いただけます。祖父母の方、聞くだけの参加も歓迎いたします。＊当事者同士の交流会ではありません

日 程	申込締切	形 態	テーマ
5/28（金）	5/21	交流会	**ほっこりタイム** ～お子さんが 18 歳以上の保護者対象交流会～
6/28（月）	6/21	ゲスト付交流会	**学校以外の学びの場から見えてくること** 【ゲスト】平岡明美氏（賛助会員/不登校専任家庭教師）
7/13（火）	7/6	ゲスト付交流会	**子どもの自己否定を生まない親子コミュニケーションの取り方** 【ゲスト】高橋亜希子氏（就労移行支援事業所エンカレッジ 取締役）
9/3（金）	8/27	交流会	**そんなふうに思ってたの？発達あるあるエピソード** ～本人の思わぬ受け止め方エピソードから見えてくること～
10/18（月）	10/11	外出	**グリーンプロジェクト（詳細は別途チラシにてご案内します）** 自然の中で集う試みです。Zoom で参加しにくい方も是非！
11/12（金）	11/5	学習会	**こじれたケースのほぐし方 ～親子のこと、お金のこと～** 【講師】中村嘉男氏（障害者地域支援センター「らくとう」副所長） ＊賛助会員の方もご参加いただけます
12/8（水）	12/1	交流会	**高機能自閉症・アスペルガー症候群セミナー（10 月開催予定）振り返り** セミナーに参加していない方とも情報共有したいと思います
1/24（月）	1/17	ゲスト付交流会	**ひきこもり支援窓口の相談員からお伝えするいくつかの就労事例** 【ゲスト】中村素子氏（L コネクト 国家資格キャリアコンサルタント）
2/9（水）	2/2	ゲスト付交流会	**就学前～思春期(青年期)・・・今、知っておきたい支援・視点** 【ゲスト】遠藤吾紀氏（賛助会員/スクールソーシャルワーカー）
3/7（月）	2/28	ゲスト付交流会	**仕事し続けるって大変…就労定着支援について** 【ゲスト】宇田亮一氏（一般社団法人 SPiS 研究所 理事長 臨床心理士）

■交流会・学習会の時間は **AM10:00-12:00** です。交流会は、テーマ以外のお話やご質問もご遠慮なくどうぞ。

■ゲスト付交流会…ゲストスピーカーの方に 30 分程お話ししていただいた後、質疑応答を含め交流します。

■交流会の参加方法については裏面をご覧ください。

[Zoom交流会のルール]

■お顔出しとお名前の表示
■他言無用、録音録画は禁止
■お互いの考え方を尊重し合う
■聞くだけでも OK
■中途退室も OK

＊個人情報に配慮した上で
エピソードを HP などでご紹介
させていただくことがあります

高機能・アスペルガー部交流会 参加方法

■交流会は京都府自閉症協会 正会員（保護者）限定です。
■11/12 学習会は、賛助会員の方もご参加いただけます。
■参加ご希望の方は、メールのタイトルを「〇月〇日　参加希望」とし、
①参加者名②正会員/賛助会員/非会員（お試し参加）③お子さんの年齢
を明記の上、askyoto@shirt.ocn.ne.jp までご連絡ください。
Zoom ミーティングに参加するための URL を事前にお送りします。
■受付締切：各回開催日の 1 週間前までにお願いします。
■Zoom 交流会・学習会の時間は AM10:00-12:00 ですが、9:30 から
Zoom の操作確認(任意)を行います。操作方法についてご説明しますので
Zoom ミーティングは初めてという方も、この機会に是非ご参加下さい。

[お試し参加について]

交流会って、どんな雰囲気なの？と心配な方のために、「交流会」「ゲスト付交流会」の日は未入会の方でも 1 回のみお試し参加できます。お気軽にご連絡下さい。

なお、他の参加者と同様にお顔出しとお名前の表示をお願いいたします。

賛助会員の方で、お仕事に関係する内容であるなどの理由で参加を希望される方は、下記アドレスまで、メールにてご相談ください。
askyoto@shirt.ocn.ne.jp

[私たちは交流会を大事にしています]

私たちはわが子を理解するために、たくさんの本を読み講演会を聞き、当事者の方の話に耳を傾けます。にもかかわらず、子どもにとってよかれと思ってしたことが、実は的外れで子の生きづらさを助長してしまう、子どもの態度や表現を読み間違う、ということが多々あります。 目の前のことに必死で自分では気づけないのです。

そんな時、交流会で他の人の悩みをお聞きしたり自分の近況を話すなかで、不思議に本で読んだり講演会で学んだことの意味がリンクして「腑に落ちる」経験をします。「あ～、私がやらかしていたのね」という具合に。その気づきが本当に大きいのです。

「やらかした」ために背負う羽目になったつらさや、頭でわかっていても現実がついていかない苦しさ。それは同じようなタイプの子を持つ親同士なら、深く理解しあい、あたたかく励ましあえる。何年も前に教わったあの話が、 わが家のこととつながって、当事者であるわが子のことに気がつける。そんな会でありたいと思っています。

京都府自閉症協会

〒602-8144
京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町 536-1
（元待賢小学校３階）
ＴＥＬ:075-813-5156
ＦＡＸ:075-813-5157
E-Mail:askyoto@shirt.ocn.ne.jp
ＵＲＬ: https://as-kyoto.com/